

瞬間接着剤のトラブル処理と使い方の手引き

瞬間接着剤（シアノアクリレート系接着剤）は、比較的広い用途に使用できるため、家庭でも盛んに利用されるようになりました。しかし、その強力な接着強さ、特に皮膚につきやすいために、トラブルを起こしやすいのも事実です。そこで、瞬間接着剤によるトラブルの応急処置法及び間違った使い方をしないための手引きを質疑応答の形でまとめました。トラブル処理及び使い方については、この手引きによって下さい。

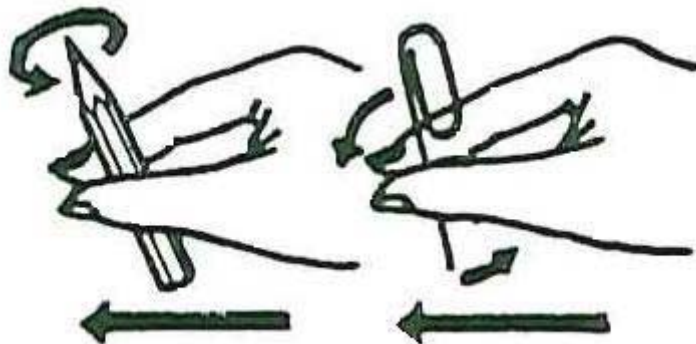
この手引きは、瞬間接着剤を使う際のほか、例えばいたずらをされた場合等、きわめてまれなケースも想定して取り上げています。

*人体に関する事項

瞬間接着剤は、皮膚についても発汗作用によって必ずはがれますから、多少時間がかかっても、あわてずに正しい処置をして下さい。

(1) 指、手などがついてしまった場合

- ①40℃ぐらいのお湯の中で、もむようにしてはがして下さい。
- ②図のように角のある鉛筆などを差し込んでぐるぐる回すと、比較的簡単にはがせる場合があります。



このような方法ではがせない場合は、次の方法によって下さい。

- ③瞬間接着剤専用のはがし剤（以下、はがし剤といいます）が市販されています。はがし剤の説明書をよく読んでお使い下さい。
- ④はがれたあとは、せっけんでよく洗って、なるべくハンドクリームをつけておいて下さい。

(2) 目にはいつてしまった場合

- ①少量でも非常に痛い場合がありますが、あわてずにすぐ水で洗眼し、医師の手当てを受けて下さい。
- ②なるべくまばたきをしないで下さい。眼球を傷つけることがあります。
- ③目をこすったり、はがし剤や溶剤は絶対に使わないで下さい。

(3) 口にはいつてしまった場合

- ①口の中は水分が多いので、量が少なければすぐ固まります。あわてずに大量の水で口をすすぎ、固まった接着剤を手で取ります。
- ②大量に入った場合、やけどしたりすることがあります。水で冷やしてすぐ医師の手当てを受けて下さい。
- ③呑み込んだ場合は、すぐ医師の手当てを受けて下さい。
- ④唇がついたときは、温湿布をしながら徐々にとるようにして下さい。

[専門家の方へ]

この接着剤のLD₅₀は、代表的にはラット経口 5000mg/kg ですから、人体にはほとんど害はありません。

(4) 入れ歯や歯をつけたい場合

- ①入れ歯の補修や、人体に使うものは厚生労働省の認可が必要ですが、家庭用瞬間接着剤はその認可を受けていないので、使用できません。
- ②ことに口の中へ接着剤を直接入れてつけようとする、口の中のほかのところを接着して大変危険ですから、絶対にしないで下さい。

(5) 刺激臭が強い場合

- ①長時間使用したり、大量に使用する場合は、目やのどに刺激を感じる場合があります。毒性はありませんが、窓を開けるなど換気をよくして下さい。
- ②刺激を感じた際でも、水で洗眼したりうがいをすれば短時間になおります。

(6) 着衣などにこぼしてしまった場合

- ①誤って衣服や靴下の上などにこぼした場合、急激に発熱してやけどをすることがあります。あわてて脱がずに大量の水をかけてから徐々にはがして下さい。脱げない場合は、はさみなどで切り取って下さい。
- ②接着剤を使用するときは、布製の手袋をしないで下さい。こぼしたり、接着剤がつくとやけどをすることがあります。
- ③手袋をする場合は、ポリエチレン製などの手袋を使って下さい。

* 器物に関する事項

(1) 衣服に接着剤がついたのを取りたい場合

- ①完全に除去することは、なかなか困難です。はがし剤を用いて取るより方法はありません。
 - (i) まず、はがし剤を衣服のきれはしにつけてみて、とけたり、変色しないことを確認します。
 - (ii) はがし剤をポリエチレンまたは陶器の器にとり、接着剤のついている個所をその中に浸けて下さい。
 - (iii) 液がすぐ衣服にしみ込みますから、取りだして白いティッシュペーパーで裏表からはさみ、たたくようにして液を紙にしみ込ませます。
 - (iv) この方法を数回繰り返すと、きれいになります。
- ②接着剤がついて固まったところを折ったり、割ったりすると穴が開いてしまいますから気をつけて下さい。

(2) 机の上などにこぼしてしまった場合

- ①こぼした直後
 - (i) 接着剤が固まらないうちに、ポリエチレン製の手袋をした上で、布などで手早くふきとって下さい。
 - (ii) ふきとった布などをそばに放っておくと、急激に発熱して蒸気が発生し、目やのどを刺激することがありますので、人のいないところに持って行き、固まるまでそのままにしておいて下さい。
- ②固まった場合
 - (i) はがし剤で目立たない個所をふいてみて、塗装がはげないか確認して下さい。
 - (ii) 固まった接着剤の上に、はがし剤をたらすと、接着剤が柔らかくなりますから、手などにつかないように注意しながらふき取って下さい。
 - (iii) ナイフなどで削り取る場合は、机などを傷つけないように注意して下さい。

(3) こわれた食器を接着したい場合

- ①食器に使用しても害はありません。
- ②陶磁器の食器は、熱いお湯を入れると長い間にとれたり、もれたりすることがあります。

(4) メガネのレンズについてしまった場合

- ①レンズがガラスの場合は、はがし剤を綿棒などにしみ込ませてゆっくり接

着剤をとかして取り除いて下さい。ただし、コーティング剤は取れてしまう可能性があります。

- ②レンズがプラスチックの場合は、はがし剤でとけてしまうので、うまく取る方法はありません。

(5) 接着したものの周辺が白くなってしまった場合

- ①接着剤の蒸気が白く固まったものです。
- ②美観上必要があれば、乾いた布でこするか、はがし剤などで取り除いて下さい。ただし、プラスチックや塗装面は、はがし剤の使用を避けて下さい。
- ③白くなった部分に植物油などを塗ると目立たなくなります。
- ④蒸気の発生を抑えるため、白化防止用のプライマーも市販されています。

(6) 車や家のドアのカギ穴に接着剤を流し込まれた場合

ドライヤーの風量をできるだけしぼって、加熱することによってとかして下さい。ただし、プラスチック製のカギ穴はとけて使えなくなることがあります。

(7) はがし剤使用時の注意

- ①有機溶剤を含むので、使用中および使用後は、しばらくの間換気をよくして下さい。
- ②火気厳禁
- ③飲み込んだ場合は、吐かせず、すぐ医師の手当てを受けて下さい。
- ④目に入った場合は、水で数分間注意深く洗い、医師の手当てを受けて下さい。

* 接着剤の使用に関する事項

(1) 接着しにくいものもあります

- ①ポリエチレン（ポリバケツなど）、ポリプロピレン（浴用小物など）、フッ素製品、軟質塩化ビニル（ビニルシート、ビニルホースなど）、シリコーン樹脂などの接着しにくいものは、プライマーを使用して下さい。プライマーの使用については、説明書をよく読んで下さい。
- ②紙、木材などのしみ込みやすいものは、プライマーを使用するか、木材用などの多孔質専用の瞬間接着剤を使用して下さい。
- ③ガラスは短期間ならばつきますが、しばらくすると自然にはがれますから、注意して下さい。

(2)可燃性液体なので、火気厳禁としてお取り扱い下さい。なお、溶剤は含んでおりません。

(3)保管する場合

接着剤は高温、多湿、紫外線によって品質が劣化します。したがって直射日光を避け、なるべく温度が低く、湿度も低い場所に保管して下さい。

(4)廃棄する場合

廃棄する場合は、容器を密封して燃えないごみとして処理して下さい。